

## 第4回 南知多町景観計画策定委員会 議事録

1 日時 令和6年2月13日(火) 13時00分～15時30分

2 場所 南知多町役場 3階 委員会室

3 出席者

(1) 委員 (18名中、出席者14名)

瀬口哲夫会長、久世守副会長、梶川幸夫委員、太田彰委員、二宮達好委員、澤田利久委員、和田佳代委員、日比登史男委員、松本好平委員、齋藤恵吾委員、福林徹委員、山本奈緒委員、日野原委員、滝本恭史委員

(2) 事務局

山本剛(建設課長)、石橋暁登(建設課都市計画係長)、岸岡史峰(建設課都市計画係)、林俊太(建設課都市計画係)  
株式会社地域計画建築研究所(アルパック)

(3) オブザーバー

杉浦祐太(愛知県公園緑地課)

4 次第

- ・開会
- ・議題

(1) パブリックコメント結果と、南知多町景観計画への反映について【資料2、3】

(2) 「(仮称)デザインアイデア集」について【資料4】

- ・閉会

5 資料

- ・資料1 第3回南知多町景観計画策定委員会 議事録
- ・資料2 南知多町景観計画(案)に関する意見への対応
- ・資料3 南知多町景観計画
- ・資料4 (仮称)デザインアイデア集

第4回 南知多町景観計画策定委員会 議事録

発言者	議 事
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「資料2 南知多町景観計画(案)に関する意見への対応・資料3 南知多町景観計画について」</p> </div>
瀬口会長	<p>南知多町の報道が多い。この東海地方の中で、半島であることが特徴的である。渥美半島は1つの町であるが、知多半島の場合は複数の市町村がある。特に半島であることからアプローチが限定されていることや、海と島があることが南知多町の特徴となっている。この点について、マスコミの人だとか一般の人から見ると、特別性があると感じられている。この点について今回の計画に盛り込まれている。皆様方の活発なご意見を期待している。</p>
齋藤委員	<p>27 ページについて、大井の夏祭りの日時は7月の第2土曜日と記載されているが、第1土曜日のこともあり得る。この第2土曜日を第2土曜日・日曜日に修正していただきたい。</p>
瀬口会長	<p>南知多町景観計画がどのようなものかわかる一言、キャッチフレーズがほしい。調査・分析した結果はわかるが、長い計画を全部読むのは大変。まちの人にアピールできる、共通にイメージできるものがあつたらよい。</p>
事務局(山本課長)	<p>51 ページに景観形成の理念として「景観で『絆』を育む・景観で『選ばれる理由』をつくる」と記載している。</p>
瀬口会長	<p>(仮称)デザインアイデア集ではタイトルが「うみとまち」となっており、南知多町の景観の特徴がわかりやすい。総合計画は重要で、地域コミュニティの重要性について触れているが、景観のキャッチフレーズといわれると違和感がある。景観形成の理念を前提に、景観計画の冒頭にキャッチフレーズを掲載できるとよい。</p>
事務局(山本課長)	<p>キャッチフレーズの掲載については検討する。</p>
齋藤委員	<p>30 ページの師崎左義長祭りについて、写真にあるのぼり旗はコロナ渦の影響で中止し、今後も実施しない可能性がある旨を区長より聞いている。また、豊浜鯛祭りについても、今は写真のように鯛を海に掲げることは一時的にできていない。今の状況ではできていない状況で写真はどのように掲載するべきか。</p>
瀬口会長	<p>地域の祭りは変化しており、過去に実施していたものをどう計画に記載するかについて委員の意見を聞きたい。</p>

滝本委員	今後どうなっていくかわからないが原風景として示しておき、今後復活するにあたっての記録として記載しておくべきと考えている。
福林委員	本計画の更新は予定しているのか。
事務局（山本課長）	必要に応じて更新していくものと考えている。
福林委員	人口が減っていく中で、ほかの祭りも変わる可能性はある。要所で変更していくことも必要ではないか。
事務局（山本課長）	現時点ではどうなるかはわからないため、現行案の写真を使うこととしたい。今後、計画の見直しの際には委員の意見を聞き反映していきたい。
瀬口会長	写真については撮影日時を記載していただきたい。また、文章の表現を過去形や現在進行形で書くなどして誤解がないように工夫できないか。
事務局（石橋係長）	30 ページの写真の出典欄では日時を記載している。事務局としては、祭りの詳細については文化財や社会教育分野で取り扱えばよいと考えている。あくまで景観計画の目標を実現していく上で、第8章以降に示している通り、デザインの工夫の考え方や、住民、事業者、行政の役割を整理することを目的としている。そのため、コロナ渦の影響を考慮した祭りごとの実施状況についてはここでは言及すべきではないと考えている。祭りの継承については文化財保護の施策で対応すべき事項であり、景観計画を策定する上で文化や祭りの特徴を把握したものであることを認識いただきたい。
齋藤委員	事務局が示した通り、欄外部分があれば修正する必要はないと考えている。
瀬口会長	それでは、出典の「ハレの日々 南知多町十七の祭礼」の出版年、発行者を記載していただきたい。この出典と計画内の文章、写真は同一のものか。
事務局（石橋係長）	同一のものを掲載している。一部総務課の資料も掲載している。
瀬口会長	それでは、出典と別資料のものは、発行者、撮影年を記載いただきたい。
福林委員	景観計画と文化財や教育分野で考え方は変わらないと思うが、景観計画でふれると柔軟に対応できないので、祭りについては、教育委員会など他のところで扱うという認識で相違ないか。
事務局（石橋係長）	その通りである。

瀬口会長	祭りと景観の関係について、例えば半田市では亀崎の祭りの景観を残すため、神前神社の前に電柱を除くことになった。だが、祭りそのものを残すか否かについては、都市計画課の所管ではないため触れていない。ただ、祭りは景観には関係しているのので、景観計画に入れておくと参考になる。
二宮委員	パブリックコメントを読むと、自然の景観と調和していくこと、景観を破壊されないように見守るだけではなく、手を入れることが必要であると感じた。町内の景観をどのような形で、調整していくのか。引き続きパブリックコメントで情報を集め、行政と住民がどのように連携をとっていくのか。
事務局（石橋係長）	91 ページに記載の通り、今後、景観特派員の募集を行う。町民の意見を反映したいと考えており、今回のパブリックコメントは1件のみだが、特派員を通じて良い景観や伸ばしたい景観などの情報収集をする予定である。そのうえで、特派員が見つけた景観を、役所として関係者と時間をかけて議論する予定である。
二宮委員	特派員は中学生も募集したらよいと感じた。前回のワークショップでも貴重な意見をいただいたので、中学校を通して募集をかけてみてはどうか。
和田委員	中身について、写真が入ってみやすくなった。冊子にする予定はあるのか。
事務局（石橋係長）	ホームページに掲載する予定。費用面から冊子にして配る予定はない。
和田委員	これはよい計画だが、冊子にしたものを一体だれが見るか気になった。概要版も作成する予定なのか。中身は読んでいて難しいと感じた。巻末に用語集があるが、可能であれば記載ページに注釈としてあると読みやすいと感じた。
瀬口会長	用語集で記載した用語については、何ページに記載の用語かわかるとよい。本文を読んでいるときに、アスタリスクなどをつけて用語の説明が用語集のどこにあるか、わかるようにしていただきたい。
日比委員	これは南知多町の景観の財産目録として認識すればよいか。また、配布資料の見方がわからないので、ご説明いただきたい。
アルパック	配布資料は、デザイン案を提示した印刷用の原稿となっており、製本前の状態となっている。

瀬口会長	前段の部分は南知多町の景観の資源をまとめている。目次にある通り、最終的な目標は皆で景観を作っていくことである。景観は行政がやることではなく、個人所有のものが多いため、地域の方の意識がないと維持することが難しいことが前提になっている。
日野原委員	80 ページのマンセルの赤枠が合っているか。
アルパック 瀬口会長	囲みの位置が間違っているので修正する。 マンセルの立体図を入れていただきたい。色のことについて知識がない人のために、立体図にして色相や彩度、明度についてわかるようにしていただきたい。
日野原委員	95 ページの写真に愛知まちなみ建築賞の写真を載せているが、どう いう関係性があり掲載しているのかご説明いただきたい。
アルパック 瀬口会長	個別のよい事例を表彰している事例として掲載している。 ブランドとまちなみ建築賞の関係性が見えづらい。ブランドという と産業のイメージであるが、まちなみ建築賞は建築なので、他にブ ランド化する目的に合わせて関係する事例を掲載していただきたい。
アルパック 瀬口会長	県内や他都市のブランドの推奨事例等を掲載するよう検討する。 ブランドというのは地域資源を定義することであると考えている。 定義することでブランドとして付加価値があがる。そのところも 注意しながら、産業振興と南知多町の特徴をセットに考えれば効果 がある。
久世副会長	観光協会としては、町民ではなく観光客を対象としており、これま ではグルメを目的にした来訪が多かったが、今後は、景観などの環 境や水産を目的にした来訪も観光協会として周知していきたい。
瀬口会長	宿泊でお金を落としてもらっているが、加えて景観や眺望があれば ブランドとして、より高付加価値になる。
梶川委員	景観計画だが、前半は地元のお祭りなどが記載され、後半はより専 門的な景観について触れられているので地元の人にとって見やす い冊子になっている。
太田委員	商工会もホームページで、職員が地元の景色やグルメの紹介をする 予定である。今回の景観特派員の募集を見て、職員が特派員になる ことは可能か。商工会としても、南知多町で観光客にお金を落とす てもらうために景観を地域資源としてとらえ、地元の人しか知らない 景色を観光に結び付ける形で発信していきたい。やり方はいろいろ あるが、参考にしながら発信していきたい。

瀬口会長	景色を眺めながら食事をしている写真の掲載も検討していただきたい。
二宮委員	景観特派員はぜひ多くの方が登録されるとよい。景観を守る、新しい景観をつくるために行政と民間が共同で進めていくときには、子どもたちも参加できるようにしていただきたい。
澤田委員	すっきりまとめられていてよい。
和田委員	いろいろ勉強させてもらった。全然知らなかった景色が知れた。計画の前半は資料的であり、後半が充実している。
日比委員	選ばれるまちという話があったが、地区の人だけではなく他の地区の人にも褒められると、より美しさに誇りを持てると感じた。ぜひほかの地区からの人たちに来ていただきたい。28 ページについて、9 番のお祭りは自身の地元のお祭りだが、地元の人でも観光客も少ないので、もっとたくさんの人たちが来てくれると地域としても張り合いが出る。他の地区の人たちからこの景観が選ばれる仕組みがあればよいと感じた。
瀬口会長	祭りの集客には認知度が必要なので、事前に祭りの情報が新聞に掲載されると地区外からも感心がもたれるのではないかと感じた。また、祭りのときに船で来訪するなどの、観光との連携があればよいと感じた。観光政策として国から予算をとり、旅館と祭りをセットする事業を実施すると認知度が上がるのではないかと感じた。
松本委員	58 ページの貝がら公園の整備を進めている。
齋藤委員	景観や祭りも維持していけない地域の現状がある。主催者側の若い人が年々減っており、縮小せざるを得ない状況である。高齢者が多いので 50 年もすれば無くなってしまふ、古い家が放置されていくのが心配である。
瀬口会長	南知多町は名古屋から距離が近く、その点希望がある地域なので、町には知恵を絞っていただきたい。
福林委員	どのように町内に発信していくのかが気になっている。
事務局（山本課長）	特派員の制度を兼ね合わせながら景観の良さを理解してもらうことを続けていきたい。
福林委員	どのようにして特派員を集めるかも重要である。
瀬口会長	町のホームページには記載するので、ホームページを見ない人にどのように発信するか知恵を絞っていただきたい。他の計画のように、町の広報の中に QR コードを入れて、スマホからアクセスできる

ようにしていただきたい。

山本委員

資料が充実されておりよいのではないかと。景観特派員も気になっているが、人を集めるのは大変だと感じた。中学生だけではなく、すでに発信している他の地域の方や南知多町で店を運営されている方などを巻き込んでやっていくべき。ホームページで閲覧する際に、見たいページに飛べるよう見やすくしていただきたい。

日野原委員

個別の話になるが、町内できれいな景観の場所にリサイクル収集の施設があることで、景観を阻害しており個人的に気になっている。南知多町の魅力が掲載された素敵な計画であると感じた。今後どのように広報、周知していくかが課題である。概要版があればよいと感じた。この計画を更新していくことも大切である。

#### 資料4 (仮称) デザインアイデア集

瀬口会長

景観計画については、今回の議論を踏まえ事務局の方で修正を検討いただきたい。続いて、資料4：(仮称) デザインアイデア集についてご意見をいただきたい。

福林委員

やりたい人は町に申し込むのか。やりたい事業主は個々でやっていくという認識でよいのか。

アルパック

個々で、アイデアを設計時に取り入れてもらうことを想定している。

瀬口会長

窓口があった方がよいかも。役場と不動産屋の情報の共有はあってもよい。

齋藤委員

ぱっと見て何の冊子かわからない。表紙の一番下の文字を大きくしていただきたい。南知多町の文字を大きくしていただきたい。

アルパック

現行案は若い人にも気軽に取っていただけるデザイン案となっている。内容のわかりやすさは今後検討する。

福林委員

本日の資料は、今後検討していくという認識で相違ないか。

アルパック

本日の委員の意見を踏まえ修正・検討していく。デザインアイデア集については本日が最後の協議の場となるため、できるだけご意見をいただきたい。また、追加意見については2月中に頂戴したい。

瀬口会長

3 ページの一番下の対象について、以前に比べ住宅の融資が受けやすくなり2拠点居住者も今後増えることを想定し、移住者だけでなくすべての住宅購入者を対象にできないか。また、町内の不動産所有者だけでなく、間口を広げ時代にマッチした対象者にしていただ

きたい。また、島が複数見える海が南知多町の特徴なので、「島」のキーワードや写真を入れていただきたい。

アルパック  
瀬口会長

追加を検討する。

他に意見があれば後ほど事務局へ伝えていただきたい。活発にご意見をいただいたので、本日の審議は終了する。

石黒町長

委員の皆様には、景観計画案について根本的なところは修正なしということで、細かい点についていくつかご指摘いただき、感謝申し上げます。景観計画の策定のきっかけとして、観光地であること、太陽光パネルの乱開発から自然破壊を守り切れなかったことがあげられる。昨年の8月に景観行政団体として総合計画にも記載した。昨年実施した3か所でのワークショップで、中学生を含め住民の皆様の意見を頂戴し、町民一人ひとり大切な景観を持っていることを実感した。また、ほかの地域からの来訪者にも自慢できることを大事にしていくことが景観計画の根本にあると感じた。太陽光パネルなどの工作物建設の規制の面もあるが、97ページの重点政策にあるようによりよい景観を作っていく計画にしていきたい。「うみ・ひと・こころ」のある景観にしたい。こうした南知多町の考えを条例にしていく予定だが、自分たちの景観をどう守っていくスタート地点としてこの計画策定を考えていただきたい。皆でこの景観を育てていくために今後も皆様の力を頂戴したい。